

令和5年度

# 東明小だより

令和5年12月25日  
第10号



## 「地域と共に歩む学校」



校長 吉田 尚子

東明小学校は、昭和42年2月に久々利小学校と平牧小学校が統合され、「東小学校」として誕生したのが始まりです。そして、その2年後の昭和44年に、「可児の東にあって朝日が昇るかごとく明るい学校になれ」という願いのもと、現在の名称である「東明小学校」に学校名が変更されました。(学校沿革史より)

校長室には、以前の校長先生が書かれたこんな文章が残っています。

### 【戦後の学校】

長い戦争が終わりました。戦時中、運動場は畑となっていました。運動場として復旧するには大変な労力が必要でした。そこで、平牧小学校では、昭和21年9月から青年団の協力のもと作業を始めました。その後、多くの地域住民の協力があり、22年2月には、全村民による砂入れが行われ、見事に復旧しました。

### 【PTAの発足】

昭和23年に久々利小学校では、保護者の協力や援助が「育友会」という組織へと発展しました。昭和25年には運動場を拡張しなくてはならなくなりましたが、すべてのPTA会員が協力し運動場の拡張工事が行われました。また、昭和26年には、会員の奉仕で得た資金をもとにピアノが久々利小学校に寄贈されました。

統合前、2つの小学校では、地域の方々や保護者の皆様の力により、運動場の復旧や拡張工事等多くのことが行われていました。まさに、東明小学校は、その昔から、地域や保護者に支えられる学校であったのです。

令和5年度、東明小学校は55年目を迎えました。そして、地域や保護者に支えられる学校であることも、創立以来ずっと続いています。

今年も、保護者・地域の皆様には、学校の様々な教育活動に対しご支援やご協力をいただき誠にありがとうございました。どうかよいお年をお迎えください。来年もどうぞよろしくお願いいたします。



開校当時の東明小学校(昭和45年撮影)



現在の東明小学校